

海外派遣留学プログラム月間報告書

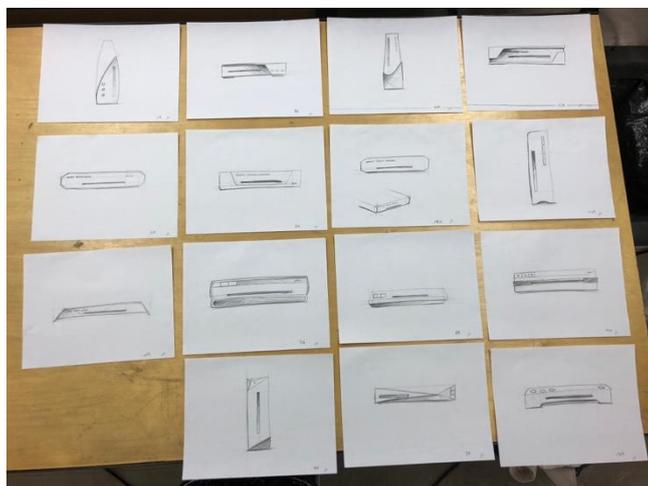
(報告期間：2018/9/1 ～2018/9/30)

1. 勉学の状況

シンシナティ大学では8月末から授業が開始されました。私が取っているクラスはこのような感じです。朝 8:00 から始まって 21:00 に終わる日はもうクタクタになります。一つの授業が 3 時間あります。Visualization のクラスではひたすらスケッチをします。自分のスケッチが良くなってきているのがわかるので楽しいです。先生からはフィードバックを日本語でもらえるので助かっています。線の引き方やパースの撮り方、色の載せ方を一から教えてもらい、大量の課題をこなす毎日を送っています。

パッケージデザインの授業では実際に企業に行って話を聞いたりしています。私はインダストリアルデザイン学科なのですが、グラフィックの学生とコラボで作るので違う観点を持っていて学べることが多いです。なかなかネイティブの学生なので会話が聞き取れないこともあります。自分の意見は躊躇せず言えるようになりました。まだまだ会話の言い回しなどが足りないので通学中に英会話のアプリを使って勉強しています。

	日	月	火	水	木	金
				Hallow		
8:00			Industrial design DAAP6 255		Industrial design DAAP6 255	
9:00						Co-op design DAAP52 35
10:00						
11:00			ESL teachers		ESL	
12:00						
13:00						
14:00			Product design studio Aronoff Center for the Arts		product design	
15:00						
16:00						
17:00						
18:00			design use centability Daap62 55			
19:00						
20:00						
21:00						



2. 生活の状況

私が一番苦労したのが生活です。くる前に家を決めて行ったのですが、1軒目の家ではルームメイトと電気を消す時間のことで口論になったり治安が悪く警察を呼んだりと大変だったので部屋を出て行きました。急遽出て行ったのでスーツケースを持っていろんな人の家に居候する日が10日間つづきました。居候なので昼は学校やカフェに居る生活をしていました。その後、二軒目でもまた問題が発生し、三軒目でいい家を見つけることができました！最初の三週間くらいは勉強に集中したいのに住むところの心配を毎日しなければならず大変でした。今は一つの家を三人のアメリカ人の女の子とシェアして暮らしていてとても居心地がいいです。ルームメイトが猫を飼っているのので家にいる時間は主に猫と遊んでいます。毎朝起きるのが早くルームメイトとあまり会わないのですが、猫が毎日見送りしてくれるので元気に学校にいけます。

こちらの学生は週末は思いっきり遊ぶポリシーがあることに驚きました。Have a good weekend!など金曜日になると街のみんなが声をかけて来て素敵な気持ちになり、いい休日を作るぞーという気分になります。先生たちも休日を大切にしている学校にはいないし、メールも返ってきませんが、子供と遊んだ話などを月曜日にしてくれるのでプライベートと仕事を完全に分けていてとても素敵です。私も将来そういう働きかたをしたいです。



学校のこと

スケッチの授業ではフォトショップを使ってスケッチを描く練習をしています。100のアイデアスケッチから2つデザインを選び色を載せていきます。先生は日本語が話せるため言語にそこまで苦労はしていませんが、周りの学生もどんどん絵が上手くなっていっているのがわかり、負けてられないです。先生の好みだと思いますが、提出が全て紙だったり、CDにデータを焼いて提出なので、いままで全部ネットを通じて提出していた私にとってはとても新鮮でした。



授業以外の時間では、自分の机を持っているので、新しい技術を学んだり、生徒同士で教えあったりして一緒に上達できる環境があるのが良いです。

ユーザビリティデザインという授業では近くの公園に行き、人にインタビューをすることで問題を発見するプロセスを行いました。6人でチームを組んだのですが、私以外全員が中国語を話せる子達で、細かいことはすぐに中国

語で喋り出すので、何回も英語で話してって言わないといけませんでした。自分が知らない言語で話し出されるのはかなりストレスでその場では蚊帳の外感を強く感じました。それと同時にこの状況って日本でもあったな・・・と。日本でもデザイン学科ではグループワークが多く留学生と共同でデザインをすることは何度かありました。グループ内で気をつけて英語でディスカッションしていても、気づいたら日本語になってしまっていることが幾度となくありました。その場にいた留学生もこういう気持ちにさせてしまっていたんだな。と顧みる機会になりました。



インターンシップにむけて、いまアメリカの企業のインターンシップを数社受けました。E2C というイベントで学校に多くの企業が集まり、ブースを大きな階段の踊り場に設けます。生徒は自分のポートフォリオと履歴書を持って自分を売り込みに行きます。戦場です。私は 6 社受けました。やはり大きかったのは言語の問題でした。自分のポートフォリオの内容が相手に伝わっているかどうかわからない、そして言語における不安が相手にも伝わっているのを感じました。結果はまだどうなるかわかりませんが、自ら機会を作りに行く体験ができたことはとてもよかったと感じています。



E2Cの様子

アクティビティ

10月はホリデイを利用して2泊3日シカゴに行きました。一人での弾丸旅です。シカゴは危ない地域もあるので今回は中心街をメインに回ることに。

間違えてスイートルームをとってしまい、私一人なのにクイーンベットが3つもついてきました。失敗 笑



スイートルームのリビング



シカゴで有名な鏡面の球体

シカゴ美術館に訪れたり、観劇を見たりと2泊3日で思いっきりリフレッシュできてよかったです。

10月の最後はハロウィン！いろんなコスチュームをした人が学校を歩いていたりと、あちらこちらにかぼちゃが落ちていたり、日本よりも季節を感じることができました。





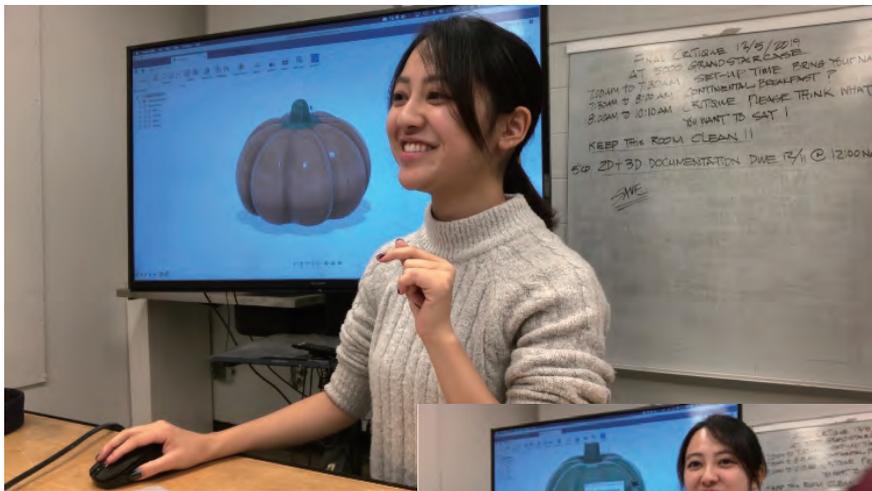
学校での様子

シンシナティはすっかり冬になって -6 度に気温が下がる日も出てきました。本当に寒いです。いくつかの授業の中間発表がありました。パッケージデザインの授業では私たちのグループは子供の定期購読用の絵本のパッケージをデザインしています。家に本が届いた後も箱を使えるように棚になるようなデザインにしました。このデザインにするために試作品をたくさん作り、使用感などをチームメンバーと検証しながら作りました。





デザインの授業は毎回プレゼンがあるので、回を追うごとに英語でプレゼンをするのが上達してきた気がします。パッケージの授業では3Dツールを使う機会があったので、デザイン学科生向けに3Dツールのワークショップを企画しました。ポスターまで作って学校中に貼ってもらえたので嬉しかったです。



ワークショップ中の様子



差し入れてドーナツをもらいました

ワークショップ当日は英語に苦労しながらもなんとか教えることができました。留学中に自分のスキルを使って発信する機会ができてよかったです。



Welcome to

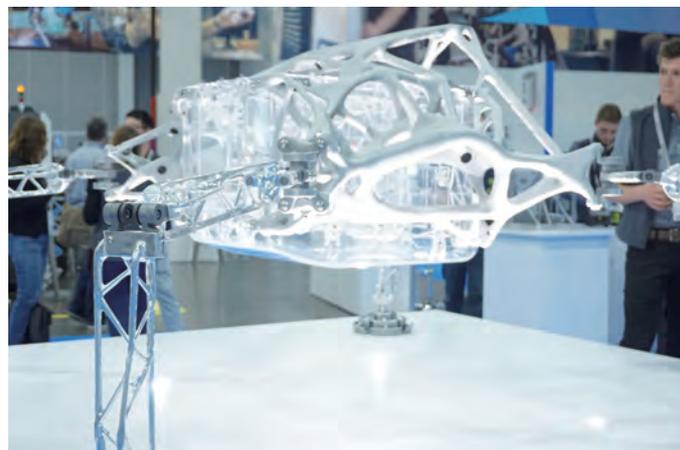
AUTODESK UNIVERSITY



アクティビティ

11月はラスベガスにテクノロジー系の Autodesk University というイベントに参加しに行きました。最新のテクノロジーの話や未来のものづくり業界のことが聞けてよかったです。今はジェネレーティブデザインという技術が発達してきて、AIが効率的な形を創造していくことができるそうです。ジェネレーティブデザインを使った車椅子や、宇宙探索機などの展示も見る事ができて面白かったです。

<https://fusion360.3dworks.co.jp/2018/12/08/autodesk-university/>

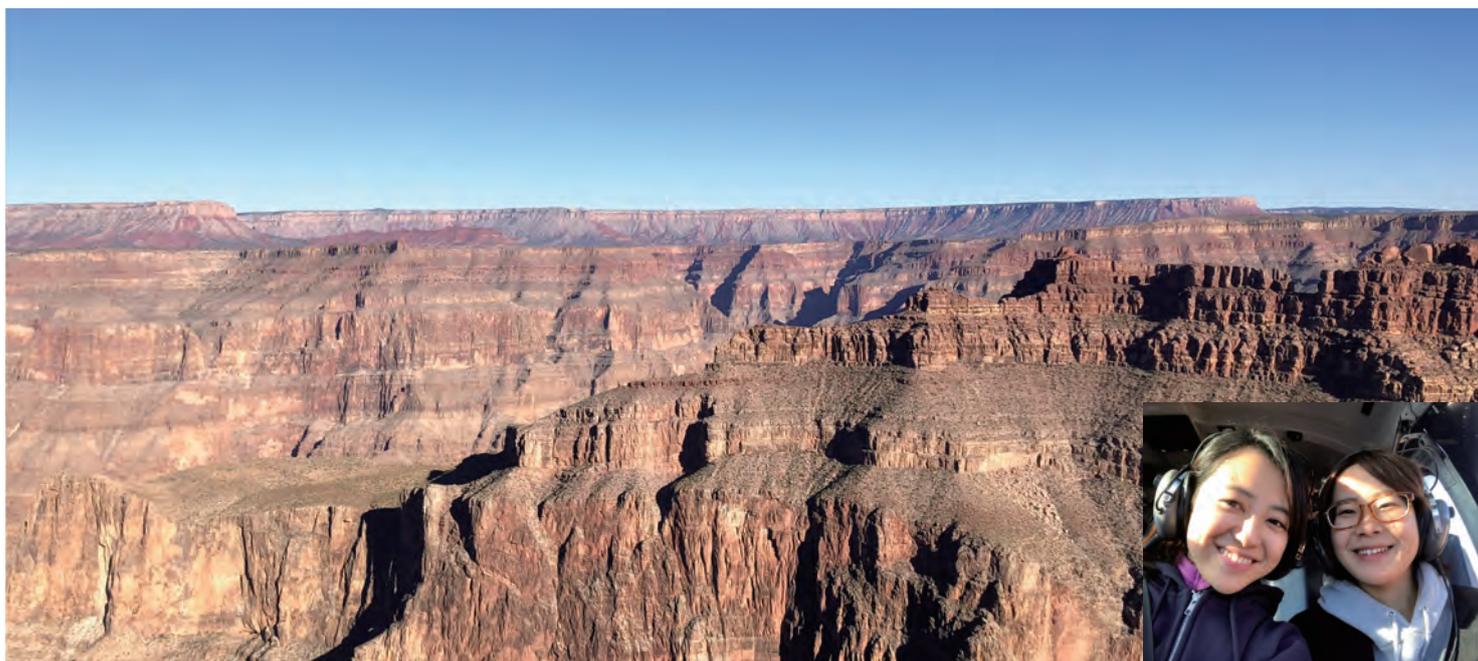


ジェネレーティブデザインで作られた探索機



ジェネレーティブデザインが作った有機的な

ラスベガスではヘリコプターからグランドキャニオンを見るというなかなかできない体験もすることができました。街の上を飛ぶ飛行機とは違い、窓からみる景色は大地がゆっくり流れていくようで地球を散歩している様でした。学期もそろそろ終わろうとしてますが、本当に濃い4ヶ月を送れています。友達と鍋をしたり、ブラックフライデーには買い物に行ったりと週末はアメリカの雰囲気を楽しむことができます。美味しい日本食も近くにはないのでついには日本食があまり恋しくなくなってきました。もうすぐクリスマス。クリスマスに向けてまた企画を立てられたらなと思っています。



ヘリコプターから見た景色



乾いた地域に現れた Hoover ダムは壮大でした。



グランドキャニオンまでの道のりはサボテンばかりでした。

Cincinnati University

— 12月 —

学校

12月はファイナルエキシビジョンがありました。デザイン学科の全ての生徒の作品が校舎全体に展示されます。私の班は子供向けの本のパッケージを作りました。作るまでの工程がカリキュラムで設定されていて、今何をすればいいのかが明確に決められていたのでやりやすかったです。

何個もプロトタイプを作成し、大きさ、使いやすさグラフィック、素材感を触りながら繰り返し修正していくことで最終的には納得のいくものことができました。日本ではコンセプトをがっちり固めてものを作っていたので、作りながら同時に考える体験をすることで実際の製品を確かめてものづくりが出来たのでよかったです。



Solution

パッケージの既製品調査

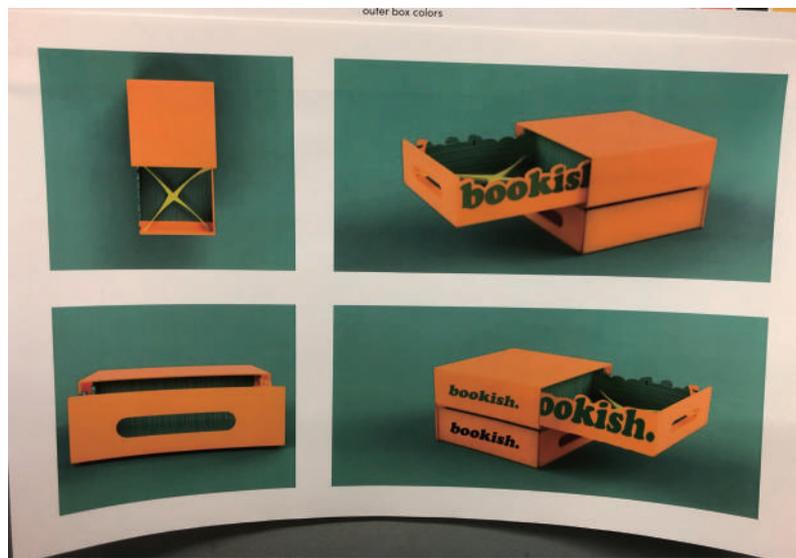
パッケージに関する文献を読んで
ディスカッション

作りたいものを提案

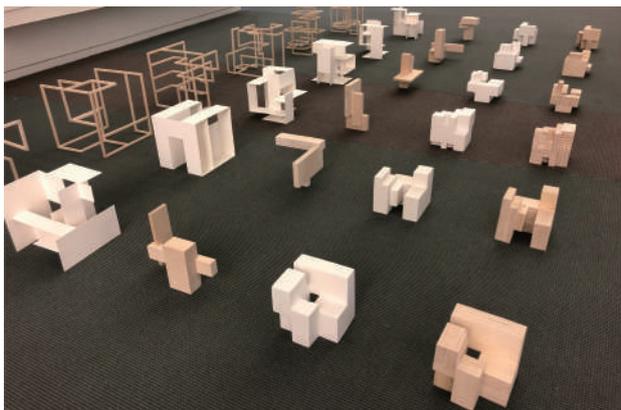
コンセプト作り

プロトタイプ(試作品)作り

ファイナルプレゼンテーション



デザイン学科には Design, Architecture, Art, Plan, Fashion の分野があり、異なるジャンルのデザインをファイナルエキシビジョンでは見ることができました。デザインの中でも現代アートに近い作品から都市計画のような現実性が強い作品など幅広く見ることでとても刺激になりました。

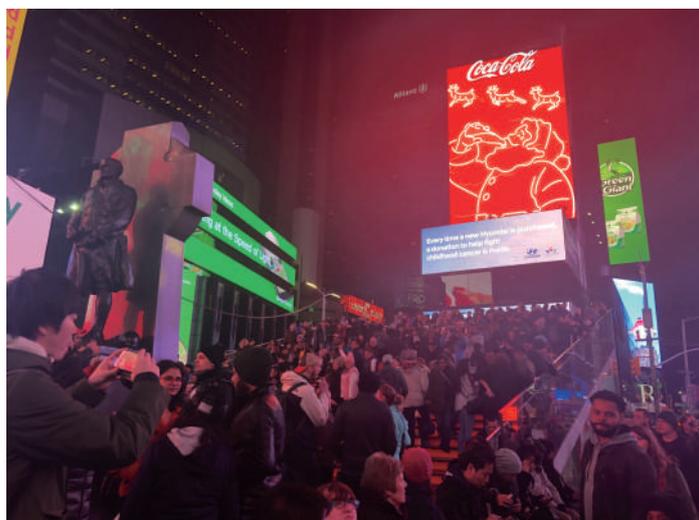


生活

12月半ばでもう授業も終わりです。帰っていく留学生を惜しみながら学期が終わって一息ふ〜っとついたところでシンシナティからどんどん人がいなくなっていました。アメリカではクリスマスはとっても大きなイベントで、みんな家族のところへ帰省します。車がないとお買い物にも行けないので、前から行きたいと思っていた9.11が起きたワールドトレードセンターに行ってきました。Uberで車を降りるとそこはもう観光地化しててとても賑わっていて、辛い事件が起きた場所とは思えない明るさでした。しかし、メモリアルミュージアムに入ると印象はガラッと変わり、衝撃でぐにゃぐにゃに曲がったエレベータの痕や事件当時の飛行機内にいた人々の緊迫した声が聞きました。その当時の記憶は私は幼かったので微かにしか覚えてませんが、家のテレビが全てそのニュースでいっぱいになったことを思い出しました。



せっかくニューヨークにきたので、ニューヨークにいるトビタテ生とも会いました。一人は不妊治療のための研究者、もう一人はダンサーでした。日本で話して以来だったのですが、それぞれの目標に向けて頑張っていてパワーをもらえました。せっかくなのでタイムズスクエアの前でトビタテについての撮影をしたりと、楽しい時間を過ごせました。



タイムズスクエア



トビタテ9期生と会いました ^^

シンシナティ 1月

新年が終わり授業が始まりました。今学期はInfographic, Ballet, Photographic, Internshipをとりました。なんとかインターンが決まりデザイン事務所でハッカソンの運営や中国茶器のデザインをしています。デザイン事務所の仕事に関わらせてもらっているのはいい経験になっています。カメラのクラスは毎週テーマを基に写真を撮ってきてお互いに講評をしあっています。

講評をするときにポジティブなマインドが良いとされているアメリカでは批評の前に必ず人を褒めるところがとても好きです。



写真



茶器セット

生活面

冬休みには時間があつたので3Dの作品コンテストを12月に開催し1月に結果発表をしました。日本に向けて開催したのですが、52作品も集まり賞品の準備に追われていました。寝ずに準備をしていたので体調を途中で壊してしまい健康に気を使おうと最近日本食を自分で作るようになりました。アメリカでは大きなオーブンがあるので入れるだけで簡単にできるレシピがたくさんあって助かっています。ルームメイトとご飯を作って話をする機会が増え、アメリカ人のルームメイトと女子会を夜な夜なするのが最近楽しいです。アメリカと日本の恋愛について考えたり、みんなの相談にのったりして文化の違いを感じています。



アメリカ生活もあと1ヶ月となりました。前のセメスターはあまり友達と遊んでいなかったのが今セメスターはいろいろな人を自分から誘うようにして会うようにしています。英語でも日本語でも関係なく人と話ができるようになったのは留学前と比べて大きな変化だと思います。残り少ないのでコミュニケーションを目標に頑張っていきたいと思います。

2月 シンシナティ大学

授業について

また新学期がはじまり授業の内容も本格的になってきました。今とっているインフォグラフィックの授業では最終課題にむけての課題が出されました。インフォグラフィックのクラスはデータを見てわかりやすくデザインを使ってまとめる授業です。テーマは「Waste」このワードに関連する言葉をクラスメイトと話しあいました。Wasteという言葉からは捨てる、廃棄するなどのネガティブなワードが連想されるので環境問題に関するゴミの無駄などのテーマが多くあげられましたが、その中でも「時間の無駄」や「ミスコンが子供に与える悪影響」など面白い着眼点のアイデアがたくさんでました。特にミスコンについての課題は今まで身近に感じたことがなかったので目新しく感じました。

聞くところによると子供の頃から親がコンテストに参加させるケースも多いらしく、クラスメイトは小さい頃からヒールを履くことによる足への影響やヘアスプレー、化粧品の成分が肌に与える影響に言及しデータをとっていました。

私は日本の傘の購買数と雨が降る日のデータをテーマにしました。ネットサーチをする中で知ったのですが、東京は世界で一番傘の所持率が多いそうです。アメリカにきて驚いたことの一つとしてこっちは人は傘をさしません。かなり的大雨でもフードをかぶって防ぎます。最初は信じられなかったのですが、すぐに慣れて私も傘を使うことがなくなりました。その代わりに洋服屋に行くとたいていのアウターは防水加工がされていることを全面にしている商品が多いです。普段きている服自体もスポーティなものが多くスポーツブランドの服をきている学生ばかりでおしゃれをしている学生はほとんどいません。

傘のことを調べているうちにアメリカと日本の服への意識の差も関連しているような気がしました。海外に行くこと日本では当たり前だと思っていたことの原因がわかり日本のことがどんどん客観的にわかってきます。

生活について

新学期が始まり新たに数人留学生がやってきました。前のセメスターは忙しく友達と出かけることが少なかったなのでこのセメスターはもっと人と自分から関わっていくことを目標にしました。その中でも教会のイベントによく参加して

いて夕ご飯を聖書のお話と共に頂きます。アメリカのイベントで出る夕ご飯には必ずベジタリアン、ヴィーガン用の料理が用意されます。私はここにアメリカの良さが顕著に現れていると思います。ベジタリアンを選ぶは自らの決定ですが、その意思を尊重してどちらの選択をしても不自由しないように配慮してくれるのがアメリカの良さだと思います。授業でも先生にデザインのことを質問するとアドバイスや指針についてのアドバイスはくれますが、最後は必ず Up to you (選択はあなた次第) と言われます。選考コースも途中で簡単に換えられます。そして飲食店では素材を自分で指定して作ってもらう方法が一般的です。一つのいい例が Subway のように野菜、肉、パンを選んで一つのサンドイッチを作ってもらうスタイルです。アメリカは自分の意思が尊重される国だなと生活



の節々に感じます。



そして最近 SNS について驚いたことがあります。それは友達同士お互いの位置情報を公開し合っていることです。Snap chat というアプリを頻繁につかうのですが、そのアプリはメッセージのやりとりだけでなく位置情報がマップで表示されます。最初は怖いと思ったのですが入れてみるとすっごく便利！学校内でたまたま近くにいる友達を気軽にご飯に誘えたり待ち合わせでどこにいるのか聞く必要もなくすぐに合流できるしいいことばかりでした。必要に応じて消息を絶つこともできるので安心です。使ってみた感想は友達同士ではとても便利なアプリですが恋人同士ではやめておいた方がいいですね！

アメリカ生活も終わりに近づいてますが自由を求めるならアメリカはとても住みやすい場所です。

シンシナティ大学 & KISD

March1~31

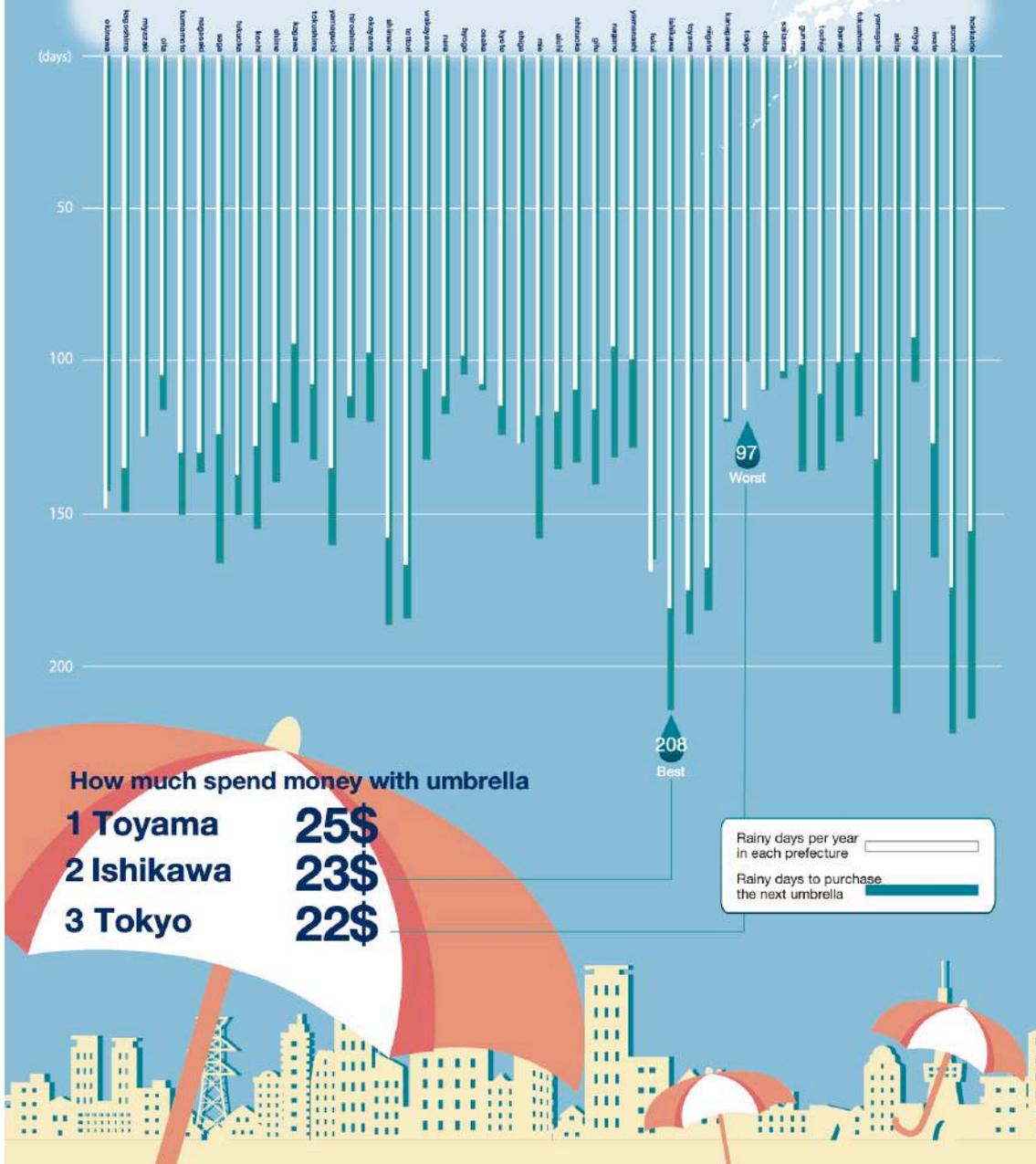
授業

Infographic design

情報をまとめるインフォグラフィックのクラスでは、世界一傘の所持数が多い日本の降水量と傘を買う頻度を調査しました。グラフィックの授業はいままでにとったことがなかったので難しかったですが、授業ごとに生徒同士でクリティックをしどんどん良くなっていくことを実感しました。特にただの評価だけでなく提案をし合う雰囲気が印象的でした。

Losing your Umbrella

How often people purchase new umbrella in Japan



Photography class

写真が徐々に難しくなってきました。今月はスピード感を出す課題にとりくみ

ました。被写体を探す時に普段意識していなかった綺麗な景色に出会えたり、初めて会う人をお願いして写真を撮らせてもらったりとカメラと一緒に新しい体験をすることができました。



生活

7ヶ月住んでみてもうほとんど戸惑うことはなくなりました。今月の中旬にはドイツに移動するので毎日友達と会っています。たくさんの友達がお飯にさそってくれたりルームメイトは Farewell party を開いてくれました。40人くらい家に来たと思います。知らない人もたくさんいましたが笑 パーティーのドレスコードが Too American gear だったので国旗の柄の服やアーミー服、どこかしらアメリカらしい柄をとり入れる格好をしました。パーティーの時はルームメイトに服を相談するのですが、「もっとスパイシーな格好をしなきゃだめよ！」と言って服を貸してくれて、髪の毛のセットまでも毎回してくれます笑

本当にいいルームメイトです。最後は怒涛の勢いで水族館にいったり、いつものタピオカ屋さんに友達といたりいい友達に恵まれてよかったです。アメリカ生活も慣れてきてもう不便に感じることはなくなりました。本当は一年間いたかったなーと名残惜しいです。

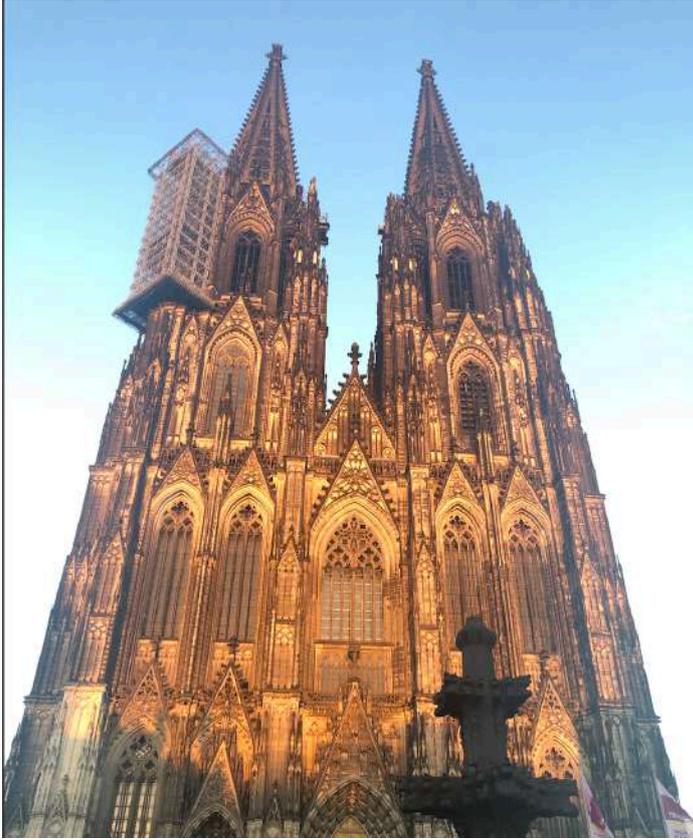


右 ルームメイト

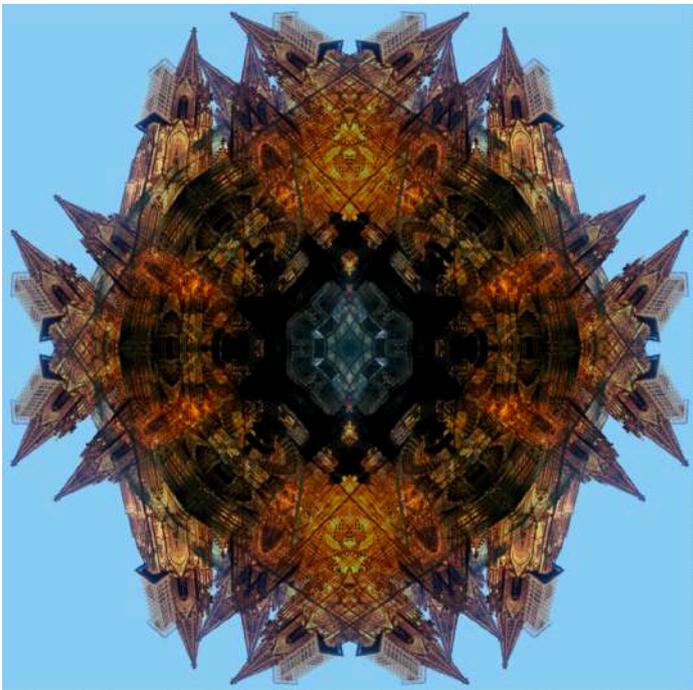


水族館

ドイツの KISD について授業が三月末から始まりました。ドイツ最初のプロジェクトではケルン大聖堂の写真を使って曼荼羅を作ってみました。



ケルン大聖堂



曼荼羅

ドイツはインターネットがすごく遅かったり電子レンジやクーラーがないことにカルチャーショックを受けています。電車がとても複雑なのですが、駅ではネットがあまり使えないので、乗り換えでネットに頼れず、15分で着く距離を1時間かかってしまう毎日です。いまだに学校から帰るのに2回は電車を間違えます。シンシナティとはまったく違い、都会な街並みを久しぶりに見たので戸惑っていますが、これから4ヶ月間また新たな生活に向けて慣れていこうと思います。

KISD 4 月



ドイツに移住して 1 ヶ月半、いくつかの単語を覚えました。いつも使うのはダンケシュ
ーン(ありがとうございます)この言葉はどこに行っても使えます。

ドイツでは授業を Project 二つ、Seminar、Working groupAG, Mentoring, Germany basic
という 5 つの授業を主に受けています。その中でもメインとなるのは Project です。
私はサービスデザインの授業のプロジェクトをとりました。このクラスで驚いたのは 20
代後半や 30,40 近い人がほとんどだということです。みんな様々な年齢、国籍そして
バックグラウンド(前職がジャーナリストや教師など)持っていて、一番新しい刺激をもら

える場所でもあり影響を受けているクラスです。授業は修士学生だけで、リサーチにフォーカスして取り組んでいます。未来の社会においてデザイナーがどう変わっていくのかというお題で記事や文献から資料を集めてグループワークで毎週まとめてプレゼンをしていきます。リサーチをしっかりとやる経験が論文を書いた以外になかったのでもここまで一つの課題について専門の資料を英語で読むということは一つの挑戦になっています。この授業のグループワークは私がドイツにきてから一番苦勞していることです。クラスメイトはディスカッションでどんどん発言していきます。修士ということもあり社会経験がある人がほとんどで自分の経験を元に強い意見を持っていて聞いていて圧倒されてしまいます。聞き取ることはできても、なかなか自分の意見をまとめられず全然発言できないことが続いています。

前セメスターでアメリカで取っていた授業では千葉大学の授業と似ていて、コンセプトを話し合って物をつくるという流れだったのでいくらかは絵で書いたり実際に作ったりして自分の意見やアイデアを伝えることができていたと思います。ドイツのこのクラスは議論の内容も抽象度が高い分伝えるのが非常に難しく、いまのところ絵と一緒にアイデアを考えて持って行ったり、できる限り質問をして発言数を増やそうとしています。

この授業の影響もあってか最近グループで会話するのが少し怖くなった気がします。なかなか大人数の集まりに行く気がおきず家にいる方が楽しくなっていました。週に1回くらいはもう少し人と会う時間を取るようになっていきたいと思います。

Beer 工場

ドイツ といえばやはりビールで本当にビールが美味しいです。今月は学校が主催するビールツアーに行きました。工場についてまずでてきたのはもちろんビール毎日飲んでいても何回飲んでも美味しい！その後 30 分くらいかけてビールの製造過程を見学します。このツアーはとても人気で違うキャンパスからもたくさん参加者がきていて3 人の子と仲良くなって話して一緒にまわりました。韓国、中国、ベルギーから来ていて同じ交換留学生だったので話しやすく今度旅行も一緒に行く約束もできました。日本やアジアに興味がある人とはすぐに打ち解けて話しやすいです。

Flatmate

私の家は家賃は相場より高く 520 ユーロもしますが、ルームメイトは一人だけドイツ人の男性と住んでいます。彼はインターンで働いて日中家にいませんがドイツは残業

などがほとんどないそうで夕方早くには帰ってきます。

とてもフレンドリーでキッチンなどで会うと長く話し込んでお互いの文化や生活について共有してます。なぜ日本は残業をあんなにするのか、新幹線はなぜ発展したかについて話しました。私も彼になぜそんなにエコに対して意識が高いのか、インターネットが発達しないのはなぜかなど書いてて思いましたが比較的まじめな話しをすることが多いですね。話だけじゃなくて時間があるときはお互いに自国の料理を作っておすそ分けします。カレーライスや大根の煮込みを作ってあげました。

最近驚いたのはミルクライスという料理です。ミルクライスという品種の米を牛乳でニコンでたっぷりのアップルピュレとお砂糖で煮込みます。正直説明だけ聞いた時はありえないでしょ！って思ったのですが、デザートだと思って食べてみたらすごい美味しかったです。



5月 KISD ドイツ ケルン

この時期のドイツでは、寒くてセーターを着た次の日は半袖を着るほど暑いというなんだか安定しない気温で毎日の服選びが大変です。
学校でビザを取るための証明写真を印刷していたのですが、等身大サイズになってしまいちょっと学校で話題になってしまいました。



今月は新しい Project が始まりました。

[Nerf Nard3] というおもちゃの銃(以下 Nurf)を使った人を撃たないで楽しめる新しいゲームを考えました。ドイツではみんな知っているおもちゃで幼少期から遊ぶそうです。

使ったのはこの銃



2週間一日中授業があり短期集中で展示会を目指すプロジェクトです。私はこのProject でプロトタイプを早く作って検証を繰り返すということに重きを置きました。

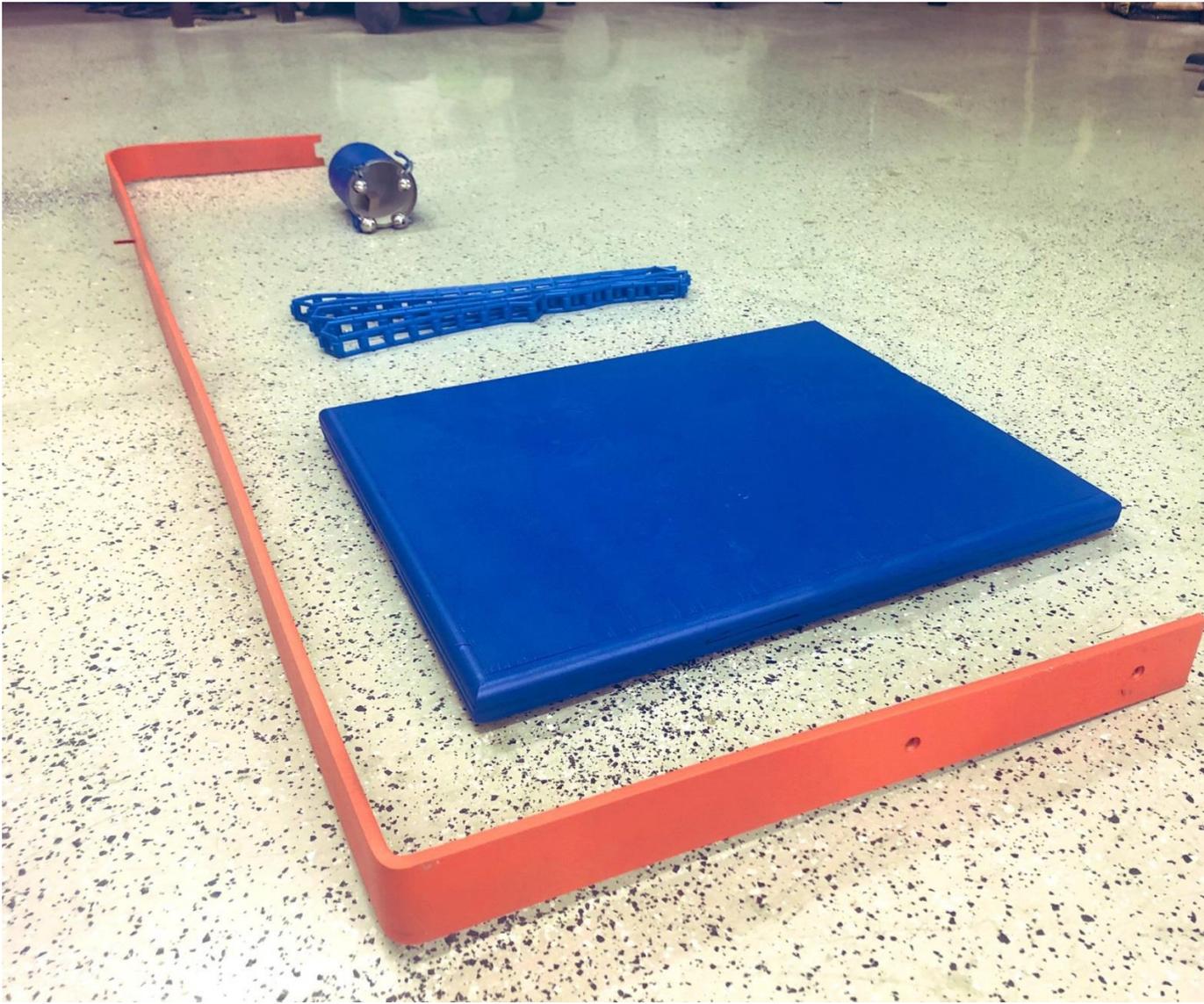
まずはどういう遊び方ができるか探るためみんなでの的を狙って撃ったりインクをつけてみたりと色々な方法をためし、子供の頃に戻ったようで楽しかったです。その後スケッチで新しいゲームのアイデア展開をしました。私以外はみんなドイツ人のクラスだったので、絵を描くことで自分のアイデアを伝えられるので言語のディスアドバンテージがある分、毎回の授業では誰よりも一目みてわかるスケッチを目指しました。おかげで教授にもスケッチを毎回褒められました。別の授業ではディスカッション潰けだったので言葉を介在しないでもデザインの話ができるのが久しぶりで嬉しかったです。

この授業では毎日新しいプロトタイプが求められるのでこれでもかというくらい工房にこもって作業しました。特に古びた鉄を拾ってきて曲げてやすって、表面をアセトンでならしてはまたやすりを繰り返してピカピカの鉄にしたときはよくここまで綺麗にしたなという達成感がありました。私のプロダクトは目隠しをして周りの右！左！などの声を聞きながらオブジェクトを撃つものでした。目隠しをしているのでオブジェクトに当たったときに音になるようにしよう！と思い、鈴をつけて音になるようにしましたがなかなか思ったような音が

出ず丸 2 日くらい音の響きを研究しプロトタイプを作りました。



作ってみてはみんなに試してフィードバックを貰うのを繰り返すことによって最後は狙った音がでたときにはやったーと叫ぶほど嬉しかったです。そして鉄を曲げ木を切り色を塗り、想像どおりいかないときは何でこんなに大変なのを考えたんだと自分を恨みつつ、ついにゲームが出来上がったときには嬉しくて学校中のみんな会う人会う人みんなに見せてまわりました。





ついに展示会の日 50 人くらいのビジターが来てくれてゲームで遊んでもらいました。自分が考えたゲームを楽しそうに遊んでくれる様子は本当に作って良かったなと思いデザイナー冥利につきます。同時に改善点へのフィードバックももらえました。スイカ割りとこのゲームは似ているのですが、スイカ割りなんでもものはドイツにはないため紙面だけで 1 からルールを理解してもらうのが難解でもう少しわかりやすくする必要がありますと思いました。





**NERF
NERDS
II**

Chinatsu Iju

BLIND DATE

How to play

Shoot the target while blindfolded

1. Two groups are playing
2. One shooter in each group wears the blindfold
3. Spin the shooter 10 times
4. Your team gives directions verbally
5. No touching!
6. Be the first to hit the target



このプロジェクトを通して考えて作って意見をもらうのサイクルを最速で行えたのは自分自身の大きい収穫でした。

一方サービスデザインの授業ではコンセプトやリサーチを繰り返しています。未来の新しいデザイナーの職業を論文を元に話し合うのですが抽象的な話題と専門用語が中心でこの授業はずっと自分の意見が持てずに苦労し、クラスがある火曜日が憂鬱でした。2ヶ月ほど発言で苦労しているこのプロジェクトですが自分の課題点は2つありました。

1つは英語力。会話の単語のレベルがぐんとあがり1つの分の中に2単語くらい知らない単語ができます。

2つ目は存在感です。リスニングはできるものの矢継ぎ早に話すみんなのスピー

ドに圧倒されて自分の発言を躊躇うくせがついていました。この時メンバーからは授業中の発言数の少なさによっておとなしくて意見を持たない人と思われていたと思います。発言しない人だと思われることで私の発言を聞いてくれようとする土壌がなく、どんどん悪循環に陥っていました。

この問題点に対していままで英語力のアプローチで状況を変えようと英語を勉強したり事前に意見を準備したりしていたのですが、ミーティング中に次々と話題が変わる 4 時間のミーティングには耐えきれませんでした。そして 5 月後半にやっと気づきました。課題点 2 つを解決したければ 2 つ解決策を考えないといけなかったのです。2 つ目の課題点、存在感を取り戻すために、本当は意見を持っていてアクティブな人だと表明する必要があると思いました。そこからはイベント企画をしてみんなに料理をふるまったりコンペを企画したりしてクラスメイトと喋る機会を増やしました。また、みんなとダンスをしたり床に絵を描くことによって存在感を出しました。

その結果、私も発言しやすくなり分からない単語も聞き返しせるようになりました。今では「なんでそんなに元気なの？」と聞かれるほどになりました。





↑企画したイベントの写真

さてプライベートでは、今月は日本デーという日本のお祭りがありデュッセルドルフまで行って友達と花火をみたり日本のコミック市場に行ったりしました。どこに行ってもビールを飲むのはドイツのお決まりで日本のビールをみんなで堪能しました。身近には日本に興味がある友達が多く、日本人が周りに私しかいないため集中的に質問が飛んできます。アニメがプリントされている抱き枕に対してどうおもっているのか、日本の労働環境についてどう思うのか、なぜ挨拶で握手をしないのかなど私が考えたこともなかったようなトピックを質問されるので私自身も考えるきっかけになって新しい日本に対する考えを日々アップデートしていています。



Japan Tag のイベント

6月 KISD

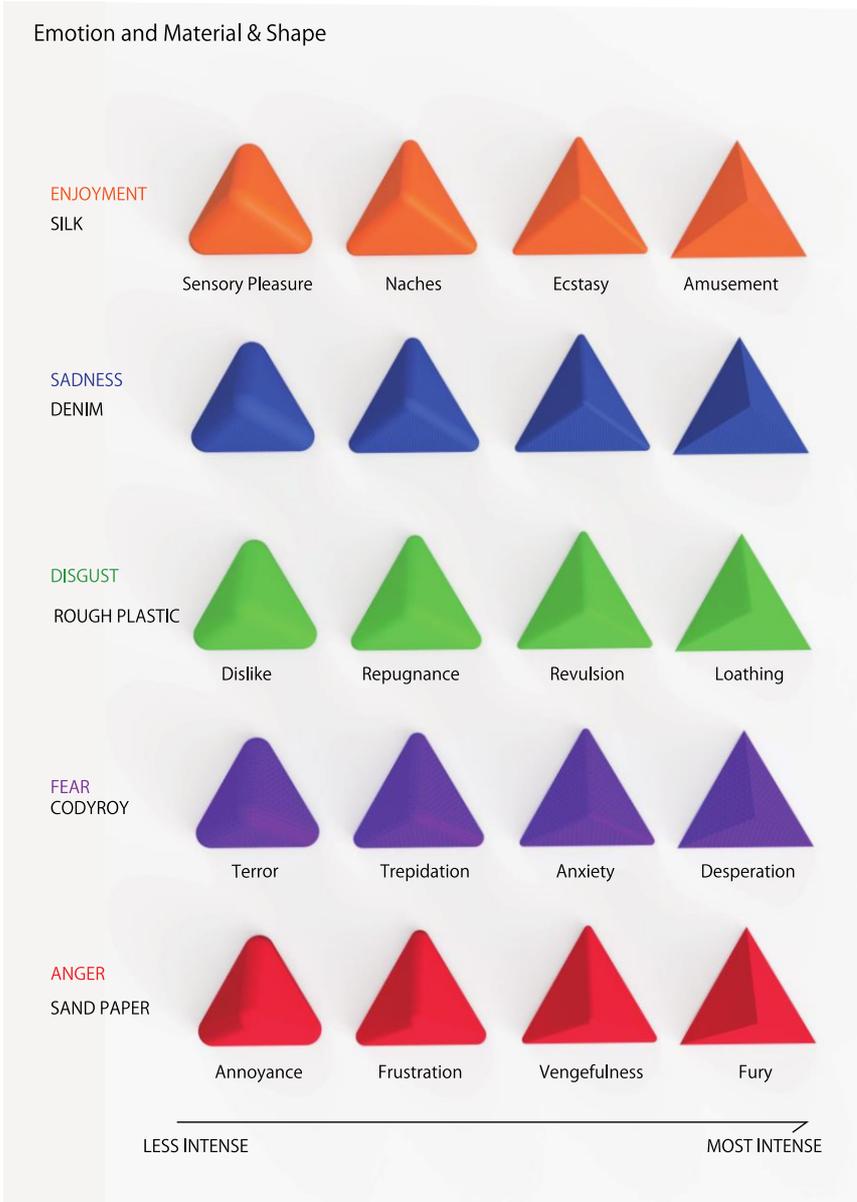
ドイツにもやっと夏がきたようです。カフェでも Cold Brew が解禁になりアイスコーヒーがのめるようになりました。氷少なめで頼むとコーヒーを多く入れてもらえるので得した気分になっています。

振り返ってみると 6 月はスクールトリップもあり授業でも自分の成長を感じることができ充実した月でした。

- ・発言数が増えて授業が楽しくなってきた件
- ・ベルリンの街がケルンと違いすぎる
- ・留学 10 ヶ月目にして旅行が少し好きになった

について書こうと思います。

まず授業ですが Future of Design という授業を引き続き受けています。私のグループでは 2030 年には感情デザイナーという職業が新しく出現すると仮定し、感情デザイナーになるためのカリキュラムを考えています。感情を Loathing, Grief, Ecstasy, Rage, Vigilance, Amazement, Admiration, Terror 8 つの原子的な感情に分類しそれぞれの感情をオブジェクトで表現し、このオブジェクトを EMO-CODE と呼んで、見たり触ったり五感で感じることで感情を呼び起こすことを試みています。



いままで大半の時間をこのコンセプトを考えるのに費やしてきましたが、6月からは具体的なプロトタイプを作る時期に突入しました。私はプロダクトデザインを学部で専攻していたので、プロトタイプにおいて先陣をきって意見を言えるようになりました！これが一番最近嬉しかったこと。プロトタイプを早く作り見せることによって毎回のミーティングに改善の進捗がでるのも今までよりも早くなりました。やはり言葉よりも具体化して試すことが何においても大切で、自分のプロダクトに対する経験がチームに貢献できているので自信がちょ

っとずつ持てました。今のチームはいろんなバックグラウンドを持つ人が集まっているので全員が得意なことが明確に違います。どんな状況でもポジションを示し、チームから必要とされることがグループワークでモチベーションを保つ秘訣だと思いました。

私はこの EMO-CODE を作る上で Grief(悲しみ)Vigilance(興味)Ecstasy(喜び)Loathing(嫌な感じ)を担当しています。例えば Loathing であれば人が見るのも触るのも嗅ぐのも嫌な感じがするオブジェクトを作成し Loathing とは何かというのを未来のデザイナーに学んでもらいます。

感情を具体的なものと結びつけるのはとても投機的でありデザインとアートが介在するものなので難しいですが、久々に粘土を触ったり、3D プリントをしたりバキュームフォームを使ったりと手を動かす作業ができて楽しいです。



↑ Loathing の object

授業は相変わらず忙しいですが、合間を縫ってスクールトリップにも行きました。小さい修学旅行みたいなもので4泊ベルリンを訪れました。

ベルリンといえばやはりベルリンの壁ですが、ベルリンの壁を筆頭とし、歴史的な建築物や場所が散らばっていて歩くたびに新しい発見がありました。ユダヤ人収容所や冷戦に関することがメインでまだ街全体に冷戦の余韻が残っているのでしょうか。街を歩いていると暗い過去を意識せざるをえませんでした。建物自体も暗い色が多くインダストリアルチックでケルンに比べると暗い印象

を受けました。この旅行においては議論ができそうな話題がたくさんあり、クラスメイトとも話せたのでベルリンならではの体験ができたと思っています。夜は川辺でビールを飲みながらみんなで歌ったりだるまさんが転んだをしたりと楽しい旅行になりました。





海外生活も10ヶ月に突入した私ですが、ケルンから出るのは初めてで実はこのベルリントリップが初めての旅行でした。いままでは1人で2週間くらい1つの国に滞在し自分がその国の文化と生活に馴染んでいく過程を実感するのが楽しかったので、人とする旅行をしたことがありませんでした。しかし、今回のベルリンを通して旅行先で感想を持った時にその場でシェアしあえる人がいうのもいいものだなと感じたし、一人で見るのとはまた違った見方ができてよかったです。見たいところがそれぞれ違うので別々に自分がみたいものを見て後から議論しあうなんていう形をとりました。それもまた自由で楽しかったです。

こんな感じで6月は過ぎていきました。もう少しすると学校最後の展示会があるのでそれに向けて猛進していこうと思います。